

認知症の方への対応の心得

認知症の方も一般の人とのつきあいと、基本的には変わりません。認知症の方への対応の心得は、認知症の方の他、高齢の方や障がいをお持ちの方を含むすべての方へのやさしい対応につながります。そのうえで、認知症の方と接するときは、認知症についての正しい理解に基づく対応が大切となります。

基本の考え方

人から不意に声をかけられると、誰でもびっくりします。
背後から声をかけるなど相手を驚かせたり、急かしたりして混乱させることがないように気をつけましょう。
ご本人の意思、自尊心を尊重する接し方を心がけることも重要です。

●具体的な対応の5つのポイント●

①気にかける

もしかして、認知症かなと思われる方に気づいたら、ご本人へ急に近づいたり、じっと見るのではなく、さりげなく様子を見守りましょう。

②周りを見始めたら、目を合わせてみる

困りごとや、助けてほしいと思うと人は周りの様子を伺います。その時は目線を合わせましょう。

③目が合ったら、「どうされましたか？」と笑顔で声をかけてみる

こちらが不安や焦りを感じていると、ご本人にも伝わって動揺させてしまいます。目が合ったらゆっくり近づいて、自然な笑顔で対応しましょう。

④相手の話を聞き、大きな声を出さずにゆっくり返答する

ゆっくりとはっきりとした口調を心がけます。早口、大声、甲高い声は避けましょう。

⑤気がかりなことがある場合には、専門職へご相談を

気がかりな様子に気づいた時は、札幌市認知症コールセンターや地域包括支援センター一等を紹介したり、つなぐなど必要な機関に連絡ください。

【認知症に関する相談窓口】



認知症の方への対応の心得は、認知症サポーター養成講座標準教材の内容を参考に札幌市認知症支援事業推進委員会で作成しました。